

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570812362		
法人名	医療法人 長慶会		
事業所名	グループホーム 桜木荘		
所在地	大仙市協和船岡字上宇津野249-1		
自己評価作成日	平成22年9月15日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの持っている力を最大限に引き出しながら役割(料理・家事仕事・個々の趣味)を見つけ、その人が満足し、生きがいをもって暮らし続けられるように支援している。
地域行事への参加やホーム内行事へのご招待を通し、入居者の方が地域住民の一員としての存在感をもち、共に地域の中で支え合いながら暮らす事が出来るように取り組んでいる。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net
----------	---------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所が地域の一員であることが、地域の方々にも浸透されており、双方の行事への参加、日頃からの近隣とのつきあい、来訪等があり、根ざしたものとなっております。また、運営推進会議では、地域包括支援センター職員、自治会長、老人クラブ会長、地域住民、薬剤師会会長、家族、事業所側というメンバーも12~13名で各方面からの貴重な意見交換が行われ、地域との連携・協力体制のもと、運営、実践へと結び付けております。職員は真心を込め、利用者支援に当たられている様子が利用者との会話、笑顔から感じ取ることのできる事業所です。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田市東通三丁目9-31		
訪問調査日	平成22年10月25日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	真心をモットーに事業所理念をつくり、互いに共有し合い実践につなげている	朝礼で理念と認知症介護の基本原則を唱和し、共有を図るとともに、日々のケアで振り返り、実践に活かしております。また、ユニット毎の目標も立てられ実践されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事である運動会や雪祭りなどに参加したり、ボランティアに来てもらうなど、地域の人々との交流に努めている	地域行事への積極的な参加や事業所での行事へのお誘い、ボランティアの来訪、収穫した野菜を頂いたり、事業所で収穫した栗等のお裾分けなどが行われ、地域に根差した事業所としての付き合いが観られます。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域向け広報や運営推進会議、サポーター講座の開催など機会あるごとに伝えていけるように努めている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議により活動状況や取り組みについて報告し、多職種の方との意見交換をしながらサービスの質の向上に活かせるよう取り組んでいる	2ヶ月に1回の開催で、行事活動、研修報告、その他質疑応答に於いて、感染症、虐待防止、サポーター講座、情報の公表や外部評価、避難訓練等、各委員との活発な意見交換が行われ、運営に反映されています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話での相談以外にも、研修等の機会あるごとに市の担当者から助言をいただくなど協力関係を築いている	制度や運営面で、助言・指導を仰ぐなど、連携をとられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会を設け、本人の安心と安全に配慮しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設けられ、拘束をしないケアの在り方について勉強会等が行われている他、日々の介護現場でも実践されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で虐待について学び、事業所内で虐待がに過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている		

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について職員へも学ぶ機会を作り理解に努めていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類を基に十分な説明を行い理解・納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している他、運営会議の際や、面会時に家族の意見・要望を確認したり、利用者一人ひとりが気軽に意見を述べられるように心掛け、それらを運営に反映している	家族とは面会時、利用者とは日常会話の中で、さりげなく聞き出し、運営に反映されています。また、意見箱も設置しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	言い出しやすい雰囲気、職員は意見や提案を述べることができ、改善される等、反映されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力や実績を把握し、手当てに反映している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修年間計画を立てそれぞれ職員の見合った研修への参加の確保や研修後も復命書や報告発表により現場でも活用できるよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者同士で、見学・研修を踏まえ交流の機会をもち質の向上に取り組んでいる		

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心した暮らしへと結びつけられるよう、本人自身の思い、不安に寄り添い耳を傾け、良い関係を築いていけるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いをしっかりと受け止め、良い関係を築けるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	目上の方に対しての礼儀や敬う心を持ち、共に支え助け合う関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を大切にし、両者の思いをしっかりと受け止めながら絆を大切に、共に本人を支え合う関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期受診では親しい方に合う機会が多い他、無理のない範囲で馴染みのある場所へのドライブに出掛けるなどの支援に努めている	住み慣れた場所や育った場所へのドライブ、買い物、友人・知人の訪問、地域行事への参加等で、関係が途切れないように支援が行われています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調を考慮しながら、レクリエーションや行事など集団で楽しむ時間をつくり共に関わり合い、支え合う機会がつけられるように努めている		

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もお手紙をいただいたり、近くまで来た際は立ち寄ってくれたりと関係を大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向にじっくりと耳を傾け、本人と向き合いながら望む暮らしへと繋がられるように努めている	一緒に暮らす相手がいることをコミュニケーションを通して伝え、聴くことで、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努められています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントと日常会話の中で一人ひとりの暮らしぶりを話題に取り上げ、センター方式も少しずつ活用しながら、これまでの暮らしを把握、整理に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントとケアプラン、日々の関わりの中から本人の有する能力を見極め、職員間で情報を共有しながら現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に担当者会議を開催する他、本人や家族からも意見・要望を確認した上で介護計画を立てている。変化があれば随時会議を開き、現状に即した計画を作成している	本人からは日々の暮らしの中で、家族等からは電話で状況説明した後に意見をいただき、担当者会議で職員の意見を把握し、介護支援専門員等が介護計画を立案されています。また、現状に即した見直しも行われています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録への記入の他、日々情報を共有できるように申し送りノートを活用しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	商店街での買物や公共施設への外出、また通い慣れた病院など、地域資源を把握し安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように支援している		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の説明時に協力医療機関の説明はしているが、本人・家族の要望を優先とし適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族等の希望する医療機関の受診ができ、職員付き添いのもと行われています。また、往診を受けたり、看護師の訪問によって医療連携が図られています。薬の受領も職員が支援されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回の看護師の訪問があり、状態報告や気になる事をこと細かく看護師に伝え指示を仰ぎ、適切な受診を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者と連携を図りながら情報交換や相談等を行い、入院中も安心して治療が出来るように、また早期退院に向けた取り組みにも努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で本人の意思を確認し、重度化においても出来る限り本人・家族の希望に添えられるよう話し合いを行い、かかりつけ病院等と方針を共有しチームで支援していきたいと考えている	医療法人が経営する事業所であり、継続的な医療行為の発生時以外は、事業所での終末期ケアの体制を取ることが可能で、利用者等が希望される場合は方針を共有し行うことにしています。また、マニュアル作りにも取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備えいつでも対処出来るように日頃から意識しながら業務に携わっている。今後、法人内の医師や看護師の協力を得ながら実践訓練を行なう予定		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施している。また、地域の方々を含めて訓練も行なっている	スプリンクラーの設置や日中・夜間想定避難訓練が消防署員立ち会いで地域住民の協力のもと行われております。また、地震想定での訓練や事業所独自の放火を想定しての訓練にも取り組まれています。	

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりその人に合った言葉かけや対応を心掛けている	利用者一人ひとりの人格を尊重された声掛けが行われており、プライバシーにも十分な配慮が観られました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを打ち明けられるような環境作りに努め、出来る限り本人の意思で決定し、納得した暮らしが送られるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活リズムを整えながらも、一人ひとりの生活パターンや思いを大切に、その人らしい暮らしが送られるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	地元の理容・美容師がホームに来てくれる他、ヘアクリーム、化粧品など本人が愛用している物が使えるよう希望に沿った支援をしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みを献立に取り入れたり、季節の山菜物をご家族から頂いた際は、皆さんで皮を剥いたり、下ごしらえをしたり、また食事の準備・片付け、お茶入れ、配膳など共に協力しながら行なっている	会話から食べたい物を引き出して献立に取り入れたり、山菜や収穫した野菜や頂き物等の下ごしらえのお手伝いを利用者からしていただき、楽しみながら食事ができるよう工夫が観られます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常生活介護記録に摂取状況を記録し状況を把握している。また、その方に応じた量、水分補給、一人ひとりの嗜好に合った食事を把握した上で栄養バランスを考え支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの促しの他、ポリデント消毒を行なっている		

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時・随時と個々にあった排泄パターンと一人ひとりの出来る部分、出来ない部分を把握しながら自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを理解され、トイレでの排泄に結び付けており、出来ること、出来ないことの把握に努め、自立支援が行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分補給、食物繊維の多く含まれた食品の提供(調理の工夫)や日々のレクリエーションにて体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように支援している	週に2回以上の入浴ができるように、希望や入浴方法の確認が行われ、入浴剤の使用や会話で楽しんで入浴ができるように支援されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない夜は本人の気持ちが落ち着くまでじっくりと話を聞いたり、その時々状況に応じて対処し安心して気持ちよく安眠・休息出来るよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一目で服用している薬の目的、効能等が分かるようにカルテに処方内容を記録し理解に努め、医療関係者の活用や服用の支援と症状の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を引き出しながら役割を持ち、日めくりカレンダーや作品作りなどを通し、日々の暮らしに張り合いや喜びが感じられるように支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	行事の一貫として企画を立て、普段行けない場所への外出や、家族や地域の人々の協力をもらいながら色々な場所へ出掛けられるよう支援している	日常的な散歩や買い物他に、大型ショッピングモールでの買い物や外食、各種のお花見ドライブ、イベントへの参加等、戸外に出かけられる機会を多く持たれています。	

グループホーム 桜木荘

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	すべて立替金で行なっているが買い物の際は職員見守りの元、お金の支払いを行ったりと、個々の力に合わせた支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の支援や手紙を代筆したりと本人の意向に合わせた取り組みをしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりと過ごせる共有の空間作りに配慮し、季節にあった花や絵を飾るなど、誰が来ても居心地良く過ごせるように工夫している	広々とした共有空間から外を見渡せ、四季の移ろいを感じることができます。気になる音や臭いもなく、温度・湿度管理も行われています。また、写真や手作りの作品、植物等で季節感を味わうこともでき、調度品によって居心地良く過ごせるような工夫が観られます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	廊下にはソファを、テラスにはベンチを置き、利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた椅子やテーブル、小タンスや棚など使いやすい家具類を使用し、本人が居心地良く過ごせるように工夫している	ベッドと箆笥は備え付けられておりますが、それ以外のテーブルや畳、小箆笥、鏡台等、身の回りで必要な物品については、各自が持ち込まれ、本人にとって居心地良く過ごせるように工夫が観られます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な部分に手すりを設置し安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。ホーム内は広い作りとなっている為、歩行器具(シルバーカー、車椅子自操)を使用しての自力移動も日常的に行う事が出来ている		